

常陸太田市 議会だより

Hitachiota City Council

No.180

令和7年5月

常陸太田市議会



令和7年度 里美小・中学校入学式

主な内容

- 令和7年度施政方針 …… P 2～3
- 議案賛否一覧 …… P 4～5
- 議案質疑 …… P 6
- 一般質問 …… P 7～9
- 常任委員会審査 …… P 10～11
- 予算特別委員会 …… P 12
- 陳情審査結果 …… P 13
- 議会運営委員会・議会日誌 …… P 14
- アンケート …… P 15～16



高星 勝幸 議長

議長あいさつ

令和7年度の「常陸太田市議会だより」の発行にあたり議会を代表してごあいさつを申し上げます。市民の皆様には、日頃から市議会に対する深いご理解と市政に対するご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

3月の第1回定例会では、令和7年度各会計予算や提出議案など計66件について審議を行いました。一般質問では6人の議員が質問に立ち、市長の政治姿勢や防災、教育など多岐にわたる議論が交わされました。

私も議会といたしましては、二元代表制の一翼を担う議事機関として、議会基本条例を遵守し、議会改革をさらに進めていくとともに、市民の皆様への付託に応え、より信頼される議会となるため鋭意努力してまいります。

結びに、市民の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



第1回定例会

■市政運営の基本方針

本市では、現在、「持続可能な魅力溢れるふるさと常陸太田」の実現を目指し、4つの重点項目に取り組みとともに、デジタル化及びカーボンニュートラルの取組みを強力に推進していきます。

昨年は、市制施行70周年・合併20周年という節目の年を、記念式典や太田まつり、花火大会など、1年を通して、様々なイベントを開催し、市民の皆様とともに祝いしました。この節目の年を本市再生の絶好の機会と捉え、過去を振り返り現在を見つめ直し、未来の常陸太田を創造するため、市民の皆様とともに行動を起こすきっかけの年とすることが出来たと思っております。

事業の実施に際しては、重点分野は着実かつ

スピーディに推進するとともに、関連する各種施策を「パッケージ化」し、総合的に取り組むことにより、主要施策を効果的に推進しているところとです。

各重点施策については、一定の成果が上がったものと認識しております。

これら重点施策以外にも、懸案であった里美南部・水府北部の簡易水道統合事業と簡易水道料金等の統一に向けた条例改正案を、昨年12月議会定例会において可決いただきました。大きな進展を見せたところで、引き続き、公共施設

の再配置を進めると



もに、「水道事業の今後の在り方」、「第三セクター統合」などの課題解決に取組み、次の世代に確実にバトンを繋ぐことができるよう努めて参ります。

■提案理由説明(要旨)

第1回定例会(3月4日から24日)は、専決処分報告・承認8件、条例の制定1件、条例の一部改正11件、関係条例の整理3件、条例の廃止1件、市道路線の廃止・変更・認定それぞれ1件、茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の一部変更1件、市有財産の無償貸付け1件、令和6年度補正予算6件、令和7年度当初予算8件、合わせて43件です。

なお、議会最終日に、人事案件及び応札の状況により新総合体育館新築工事請負契約を追加提案する予定です。



令和7年 第1回定例会

令和7年度予算総額

472億188万6千円

■令和7年度予算の概要

令和7年度一般会計予算は、対前年比6.5%減の294億5,500万円で、特別会計、公営企業会計を合わせると前年度比3.7%減の472億188万6千円となります。

— 令和7年度の一般会計主要事業 —

令和7年度の主な事業を紹介します。

安全安心なまちづくり

- 河川維持及び内水対策 7,876万円
排水ポンプ車を安全に活動させるために源氏川堤防改良舗装工事を実施、内水浸水想定区域図に基づく内水ハザードマップの作成
- 公共交通対策 3億6,307万円
東部地区及び住宅地などで自動運転EVバスを運行、予約型AI乗合タクシーの車両数を増加、高齢者（75歳以上）の路線バス利用者に利用料金の半額を補助



健康で快適な市民生活の実現



- 長生きじょうづるさん健康ポイント付与 125万円
県のいばらきヘルスケアポイント事業に参加する市民に対して、市独自のデジタルポイントを付与し、健康づくり活動を推進
- 新総合体育館整備事業 17億1,436万円
スポーツ活動の中心拠点として、すべての人が気軽にスポーツを楽しめる場として新総合体育館を整備（継続費：令和6年度～令和9年度）

少子化・人口減少対策

- 結婚推進 1,272万円
独身女性向けワークショップの開催、民間結婚相談所と連携した一年成婚事業の実施、結婚相談センターの運営及び入会用写真代助成
- 学びのじょうづるさんパスポート 224万円
市内小中学生が県内の教育、文化施設等を利用した際に、利用料金の一部をデジタル通貨ポイントで還元



活力ある産業づくり



- 常陸秋そばブランド推進事業 50万円
常陸秋そばブランド推進協議会を新設し、混じり気のない「発祥の地のそば粉」として都内高級レストラン等へPRするなどの販売戦略、販路拡大等を推進
- メープルリーフの森づくり 518万円
市民参加によるサトウカエデ等の植樹事業を民間企業と連携して実施

第1回定例会議案賛否一覽

△全会一致で可決・同意した議案▽

議案名	付託委員会	議決結果
報告第8号	本会議	原案承認
議案第2号	総務	原案可決
議案第3号	総務	原案可決
議案第4号	産業建設	原案可決
議案第5号	文教民生	原案可決
議案第7号	文教民生	原案可決
議案第8号	産業建設	原案可決
議案第9号	産業建設	原案可決
議案第10号	産業建設	原案可決
議案第11号	総務	原案可決
議案第12号	文教民生	原案可決
議案第13号	総務	原案可決
議案第15号	総務	原案可決
議案第16号	産業建設	原案可決
議案第17号	産業建設	原案可決
議案第18号	産業建設	原案可決
議案第19号	産業建設	原案可決

議案第20号	総務	原案可決
議案第21号	文教民生	原案可決
議案第22号	総務	原案可決
議案第23号	文教民生	原案可決
議案第24号	文教民生	原案可決
議案第25号	文教民生	原案可決
議案第26号	産業建設	原案可決
議案第27号	産業建設	原案可決
議案第28号	産業建設	原案可決
議案第29号	産業建設	原案可決
議案第30号	産業建設	原案可決
議案第31号	産業建設	原案可決
議案第32号	産業建設	原案可決
議案第33号	産業建設	原案可決
議案第34号	産業建設	原案可決
議案第35号	産業建設	原案可決
議案第36号	産業建設	原案可決
議案第37号	産業建設	原案可決
議案第38号	産業建設	原案可決
議案第39号	産業建設	原案可決
議案第40号	産業建設	原案可決
議案第41号	産業建設	原案可決

議案第42号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第43号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第44号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第45号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第46号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第47号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第48号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第49号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第50号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意

議案第51号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第52号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第53号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第54号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第55号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第56号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第57号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意
議案第58号	常陸太田市農業委員会委員の任命について	本会議	原案同意

所管事務調査及び閉会中の継続調査について
4件(議会運営委員会、総務委員会、文教民生委員会、産業建設委員会)

△賛否の分かれた議案▽

議案名	付託委員会	審査結果	宇野 隆子	高木 将	茅根 猛	成井小太郎	高星 勝幸	深谷 秀峰	益子 慎哉	平山 晶邦	深谷 涉	藤田 謙二	菊池 勝美	小室 信隆	森山 一政	鴨志田 悟	根本 仁	議決結果
議案第1号	文教民生	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	文教民生	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	総務	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第29号	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	予算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	本会議	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席】
※議長の表決権・過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決が否決が決定することができる裁決権が認められています。

議 案 質 疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけではわからないことを質問する行為のことです。

議案第4号 常陸太田市手数料条例の一部改正について

(茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例（令和6年茨城県条例第74号）が令和6年12月19日に公布され、令和7年4月1日から施行されることに伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問1 茨城県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例に伴って、常陸太田市手数料条例の一部改正を行う背景について伺いたい。

答1 令和3年7月、静岡県熱海市で盛土の崩落による大規模災害が発生したこと等を受け、旧宅地造成等規制法が改正され、「宅地造成及び特定盛土等規制法」いわゆる「盛土規制法」に改められるとともに、土地の用途にかかわらず、危険な盛土等に対し包括的な規制が行われることとなる。「盛土規制法」に基づく許可等は県が行うが、権限移譲により「都市計画法」に基づく開発許可を受けた場合、「盛土規制法」に基づく許可を受けたものとみなされることから、審査手数料を追加する。

問2 過去3年間の面積1,000平方メートル以上の大規模開発許可件数及び盛土規制法の規定に基づく中間検査が必要な大規模開発許可件数について伺いたい。

答2 過去3年間の面積1,000平方メートル以上の大規模な開発許可件数は9件、盛土規制法に基づく中間検査が必要な規模の案件は0件だった。

議案第22号 令和6年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）について

(歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ10億750万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ320億5,266万9千円とするもの)

問1 自衛官募集事務受託事業普通旅費の使途について伺いたい。

答1 自衛官募集事務に係る会議出席や研修参加に要する費用として、県外での開催や宿泊を伴う場合を見込んで計上している。令和6年度は、県内で開催された担当者会議等への出席と、自衛官募集相談員を含む市自衛隊家族会の視察研修を市有バスによる日帰り研修としたことから、旅費が不用となり減額補正をするものである。

問2 高齢者定期予防接種委託料6,119万3千円の減額の理由について伺いたい。

答2 新型コロナウイルスワクチンの高齢者定期接種委託においては、国の補助金額の確定を受け、9月議会で補正予算を計上している。その際、接種対象者の接種率を令和5年度の実績55.4%から60%と見込み計上したが、令和7年1月末現在の接種率が24.9%、接種人数は4,857人であったことから、2月末までの接種率を30%と見込み、減額を行った。

問3 令和5年度と比較し、接種率が極端に低い状況に対する所見について伺いたい。

答3 令和5年度まで、予防接種法上、特例臨時接種に位置付けられていたことから、接種について努力義務があり、国からの積極的な接種勧奨が行われ、接種費用も全額公費で賄われ、無料で接種を受けることができた。しかし、定期予防接種のB類疾病に変更されたことにより、国からの接種勧奨等はなく、費用も一定の負担を頂くこととなったことで、接種への意識の変化が生じたのではないかと推察される。なお、近隣市町と比べ、本市の接種率が低い状況にないことも確認している。



成井小太郎 議員

問1

宮田市長は、令和3年5月に就任され、第6次総合計画に掲げる「幸せを感じ、暮らし続けたいと思うまち 常陸太田」の実現を目指し、市政運営に4つの重点項目を掲げ、各種施策の具現化に取り組みられるとともに、大久保前市長から引き継いだ新総合体育館建設、市道0139号線整備、東部土地区画整理事業の3つのプロジェクトについても積極的に推進されてきた。また、昨年の市制施行70周年、

問1

合併20周年の節目には、記念式典、太田まつり、花火大会など、多くの市民が参加し、記憶に残る記念行事を開催され、就任以来、地域の行事や各種団体の会合にも積極的に出席、参加され、市民や業界団体の皆様との対話や触れ合いを大切にし、数々の実績を積み重ねてこられた。これまでの4年間における市政の成果、実績をどのように判断し、今後の市長選に向けてどのように考えているのか伺いたい。

答1

市長 私は、市政の最大目的は、市民の命と健康を守り、市民が笑顔で安心して暮らせる生活の実現に向け、先哲が培ってきた歴史や文化、産業などを確実に次の世代につなげ、未来にわたり持続可能なまちづくりを推進することであると考えている。前市長より引き継いだ今後の本市のまちづくりの礎となる3つのプロジェクトの着実な推進、並びに私が市長就任時に掲げた4つの重点施策の推進に全力を注ぐと

答1

ともに、デジタル化やカーボンニュートラルの推進にも取り組んできた。これらは概ね一定の成果を得られたものと認識をしているが、人口減少に歯止めをかけることが出来なかった点は非常に残念に思う。今後は、今任期満了をもって引退し、「持続可能な魅力あふれるふるさと常陸太田」の実現を、次期市長へとバトンを繋いでいく考えである。



深谷 渉 議員

問1

災害時の応急仮設住宅の供給としては、既存の民間賃貸住宅を借り上げて提供する「賃貸型」、プレハブや木造など現地に施工する「建設型」がある。そこにもうひとつの手法としてムービングハウスを提供する団体と協定を結び災害に備えることについてご所見を伺いたい。

問2

災害時における応急仮設住宅の多角的な確保対策を
学校図書館の役割と児童・生徒の読書環境改善について

住宅については、支援可能な棟数や搬送に要する時間などの即時対応力について検証する必要性がある。今後、提供可能な企業や団体の把握、さらには、既に災害協定を締結している県内20の自治体に支援や連携内容を確認するなどし、災害協定の締結を検討していく。

に活用できない」との意見が多数ある。これは、図書標準が蔵書数だけを求めてきたため廃棄が進まなかったこと、文学の蔵書割合が非常に高く学習に役立つ図書が少ないことが要因と考える。図書館における読書学習情報の各センターとしての役割を意識して整備する必要が。ご所見を伺いたい。

から5年にかけて図書廃棄をし、全蔵書に対して小学校10%、中学校9%の廃棄率となっている。文科省では、学校図書館をめぐる現状と課題を踏まえ、学校図書館の整備充実を図るため、「学校図書館ガイドライン」を定め、運営上の重要な事項について、望ましい在り方を示している。各学校では司書・教員からなる組織を設け、各センターとしての役割を果たせるよう工夫をしている。

答1

総務部長 ムービングハウスを活用した応急仮設

問2

学校図書館の現状は、「古本ばかりで、読みたい本が無い」「読み物中心で、授業

答2

教育長 現在、図書廃棄規準に従って、令和4年

【深谷 渉 議員 質問事項】
●防災対策について ●防災協定について
●学校図書館について
●カスタマーハラスメントについて



【成井小太郎 議員 質問事項】
●市長の政治姿勢について





鴨志田 悟
議員

問1 能登半島地震を踏まえ、国は狭い空間の中ですし

詰めイメージがあった避難所を根本的に見直し、人が人らしく生活できる避難所を目指すとした。そこで、本市の避難所の生活環境の確保について伺いたい。

答1 総務部長 避難所の生活環境の確保については、

茨城県の備蓄方針に基づき発災後3日間を公的支援することを目標値として必要な備蓄品などの整備

問2

新基準による避難所の災害用トイレなどの備蓄品の整備を誰でも利用できる開かれた市立図書館の運営は

を進めている。具体的には、食料については3日分2万1600食を備蓄し、このうち8600食については食物アレルギー疾患を有する避難者に配慮した非常食を用意している。

災害用トイレは、避難所等に設置する仮設トイレ10基のほか、必要に応じて災害協定を締結している業者からのレンタルなどによって対応する。また、マンホールトイレを道の駅に5基、新総合体育館にも整備を予定している。

問2 公立図書館は、誰でも利用できる開かれた図書館

のコンセプトの上、市民の様々な要求に応えることを基本に、市民の生涯学習の拠点となりうる新たな運営が必要となると考える。

答2 教育部長 図書資料の個人貸出は令和5年度は

15万2138冊とコロナ禍以前の

貸出数を上回り、電子図書館の利用状況は令和6年度に貸出利用数を2件から5件に増やしたことから、2月末日現在5300件の利用状況である。

特色ある図書館事業の一つとして、赤ちゃんが絵本に触れる機会をつくることを目的にブックスタート事業を実施し、乳児相談時に絵本2冊とトートバックの贈呈及び親子に読み聞かせを行っている。



平山 晶邦
議員

問1 市は町会の現状を把握するため、「町会についてのアンケート調査」を実施し、昨年

11月に「町会等への現状等調査に係る集計結果報告書」をまとめた。この報告書から見えてくることを市行政として分析し、各町会が抱える課題・問題を抽出して、それを今後の町会の在り方につなげていく必要がある。そこで、取りまとめた結果の考察と町会世帯数の現状、アンケートの分析を今後どのように活かしていくのか、また、

問1

アンケート調査結果を踏まえた今後の町会の在り方は

行政協力員制度の在り方をどう考えるのか伺いたい。

答1 市民生活部長 町会役員

や住民の高齢化、町会活動に対する意識の希薄化、行政協力員の負担の重さ、町会世帯の減少などにより、各種委員の選出や担い手不足が深刻化している状況にある。広報紙などの回覧板を回すことも大変になってきているという事例も把握した。

町会世帯数は、30世帯未満が

7町会、30～50世帯未満が19町会、50～100世帯未満が37町会、100～200世帯未満が41町会、200～300世帯未満が12町会、300世帯以上が8町会となっている。

アンケートの分析等は、町会とかわりの深い庁内15課と会議を開き、課題等を共有するとともに、その課題解決に取り組んでいく必要があることについて共通認識を

図ったところである。引き続き、把握した課題等については、組織

横断的に検討を進めていく。

市行政の重要なパートナーである町会が、今後も活動を継続していきけるよう、町会の人口や世帯数、地域特性等も考慮し、必要な支援を行っていく。また、町会には、行政協力員制度の担い手として、市行政の様々な業務にご協力いただいていることから、業務の効率化等についても検討していく。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

●今後の町会の在り方について



【鴨志田 悟 議員 質問事項】

●避難所の生活環境の確保について
●市立図書館の運営について





宇野 隆子 議員

問1

2月4日、原子炉の運転や監視をおこなう原発の心臓部・頭脳部である中央制御室制御盤の火災が発生したことは重大である。この3年間に11件の火災が発生しているが、きわめてずさんな安全管理体制であり、原発を運転する資質が厳しく問われる。東海第二原発は、運転開始から46年、東日本大震災で被災した原発であり、圧力容器の中性子脆化や交換されない難燃性ケーブル、古い機器が多数存在し、予測

問2

東海第二原発の中央制御室での火災は重大
難聴者への補聴器購入助成制度の創設を

のつかない不具合や過酷事故の危険性がある。現在、東海第二原発は再稼働に向けて工事を進めているが、被災した原発を再稼働するのは異常である。再稼働ストップに対する考えを伺いたい。

問2

全国では補聴器購入助成の実施自治体数は、この3年間で約8倍の286自治体に広がっている。県内でも土浦市、つくば市、城里町、東海村等の計10市町村で助成を導入している。さらに、新年度には利根町で実施を予定している。難聴高齢者の早期発見に向けた取り組みと、補聴器購入費の助成、相談からアフターケアまでの補聴器の適切な利用を支援する制度を作ることについて伺いたい。

答2

保健福祉部長 早期発見のためには、市の健診で聴力検査を行うことが効果的だが、実施にあたっては施設・設備が必要であるため、こうした課題を含め、調査研究を進めていく。
また、補聴器の購入助成や支援制度については、高齢者福祉計画の策定時に補聴器の保有状況に関するアンケート調査を実施するほか、他の自治体の事例を調査し、検討している。



高木 将 議員

問1-1

旧体育館解体費を含む新総合体育館建設費は、当初の額として46億円と示されたが、今回提示された最終見積額に至った経緯について伺いたい。

問1

新総合体育館建設事業について

ポンビジョンを含めたサインエージの中止、移動観覧席等の見直し、競技に支障をきたさない範囲で照明数を再検討した結果、約7・5億円の減額を見込んだ。

に、約15億円の乖離があったことについて、その理由を伺いたい。

提が崩れた現況下で、サブアリーナ建設の是非についての議論はなかったのか伺いたい。

答1-1

教育部長 令和6年8月1日に実施した入札において、心札ゼロとなったことから、その原因の究明に努め、結果、実勢額と約15億円の乖離があることが判明した。

設計を請け負った企業の提示した金額と実勢価格

計画見直し中に、ブロスポーツ公式試合誘致の前

その方針を昨年11月の全員協議会で説明するとともに、昨年12月議会で予算案の承認を受け、手続きを進めているところである。

そのため、屋根工法の変更、リ

設計を請け負った企業の提示した金額と実勢価格

計画見直し中に、ブロスポーツ公式試合誘致の前

その方針を昨年11月の全員協議会で説明するとともに、昨年12月議会で予算案の承認を受け、手続きを進めているところである。

- 【高木 将 議員 質問事項】
●新総合体育館建設事業について
●市長1期目の市政運営について



- 【宇野 隆子 議員 質問事項】
●東海第二原発の再稼働問題について
●物価高騰から市民の暮らし支援について
●平和事業について ●小中学校体育館への空調設備設置について ●補聴器購入助成制度について



総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正3件、条例の整理3件、規約の一部変更に関する協議1件、補正予算1件、合計8件の審査を行い、付託された7議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、1議案を賛成多数により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第11号 常陸太田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

問 (消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令(令和6年政令第394号)が令和6年12月27日に公布され、令和7年4月1日から施行されることに伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問 勤務年数に「35年以上」の区分を新たに加えた背景について伺いたい。

答 今回の条例改正は、国の法令改正に伴うものであり、国では、地域防災力の維持のためには、新たな消防団員の確保だけでなく、既に在

籍している消防団員にやりがいを持って活動していただくことが非常に重要であると認識している。特に、高齢化が進む地方においては、60歳以上のシニア層の処遇改善により消防団員の活躍を推進し、担い手不足の解消を目的に改正を行うものである。

議案第22号 令和6年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号)について

(一般会計歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ10億750万5266千9百円とするもの)

問 まちなか定住促進事業の民間賃貸住宅建築助成費の減額について伺いたい。

答 本助成事業に対しては4件の相談があったが、建設資材の高騰などにより申請までには至らなかったものである。次年度については、市場の状況把握に努めるとともに、引き続き、茨城県宅地建物取引業協会等に対して、助成事業の活用をPRしたい。

【委員会構成】

委員長 深谷 渉
副委員長 鴨志田 悟
委員 茅根 猛、委員 深谷 秀峰、委員 平山 晶那

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正4件、市有財産の無償貸付1件、補正予算3件、合計9件の審査を行い、付託された7議案を全会一致により原案可決すべきものと決定、2議案を賛成多数により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第5号 常陸太田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

(児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令が令和6年11月29日に公布され、令和7年4月1日から施行されることに伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問 今回の改正で管理栄養士が追加となった理由について伺いたい。

答 これまで管理栄養士の養成施設の卒業者が、管理栄養士の国家試験の受験資格を得るためには、都道府県知事から栄養士免許の交付等を受ける必要があったが、栄養士法の改

正により、管理栄養士国家試験の受験資格として、栄養士免許が不要となったことから、当該施設において管理栄養士のみを資格を有する者を配置した場合でも、従来の要件を満たすものとする改正が行われたためである。

議案第25号 令和6年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

(介護保険特別会計歳入歳出の総額にそれぞれ1億2979万円を追加し、総額を64億336万8千円とするもの)

問 食の自立支援事業委託料494万円の減額について伺いたい。

答 食の自立支援事業委託料については、週4回を限度として夕食時に食事を提供するとともに、高齢者の安否確認を行う配食サービス事業であり、当初6万食を見込んでいたが、入院や入所などによる利用中断等で、1割相当の6175食を減食し、5万3825食としたものである。

【委員会構成】

委員長 小室 信隆
副委員長 根本 仁
委員 宇野 隆子、委員 高木 将、委員 菊池 勝美

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の一部改正4件、条例の廃止1件、市道路線の廃止1件、市道路線の変更1件、市道路線の認定1件、補正予算2件、合計10件の審査を行い、付託された10議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第16号 常陸太田市水府竜神ふるさと村の設置及び管理に関する条例の廃止について

(常陸太田市水府竜神ふるさと村を用途廃止するため、本条例を廃止するもの)

問 施設廃止後は、どのように進めていく予定か伺いたい。

答 当該施設の敷地の一部が借地となっているため、今後、地権者等と協議を進め、施設の売却や取り壊しなどについて、その方向性を検討していく。

【委員会構成】

委員長 森山 一政 委員 益子 慎哉
副委員長 成井 小太郎 藤田 謙二
委員 高星 勝幸

茨城県後期高齢者医療広域
連合議会議員一般選挙結果

3月に茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員一般選挙が行われ、小室信隆議員が当選しました。



常陸太田市選挙管理委員
及び補充員の選挙結果

令和7年3月31日をもって任期が満了となることに伴い、本会議（3月24日）において選挙が行われ、次のとおり当選人が決定しました。

●市選挙管理委員 ●補充員

植木 宏氏 平根 雅史氏
寺門 正夫氏 斎藤 広美氏
古神 義昭氏 荻津 一成氏
栗原あき子氏 岩間 克則氏



峰山小の児童が議場見学！

2月4日、峰山小学校3年生の児童65名の皆さんが授業の一環で市役所を訪れ、本庁舎4階にある議場を見学しました。

議場見学では、議長席や議員席などに着席し、市議会の実際の雰囲気を感じました。また、市議会の役割や仕組みなどについて、クイズ形式で楽しみながら学びました。



行政視察にお越しいただきました



月 日	議会名	主な視察項目
1月22日(水)	福井県越前市議会	自動運転 EV バスについて
1月29日(水)	福島県田村市議会	廃校後の学校利活用について
2月10日(月)	茨城県ひたちなか市議会	常陸太田市議会業務継続計画(議会 BCP)について

予算特別委員会を開催

— 令和7年度一般会計・特別会計3件・
企業会計4件を審査 —

予算に関する議案第28号から議案第35号までを審査するため、予算特別委員会を3月10日に設置した。議長を除く14名の議員が委員に選任され、3月17日と18日の2日間にわたり審査を行い、一般会計の総額294億5,500万円、特別会計の総額126億9,476万2千円、公営企業会計の総額50億5,212万4千円、合計472億188万6千円について審査した。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については、賛成多数により原案可決すべきものと決定。その他4会計については、全会一致により原案可決すべきものと決定した。



予算特別委員会 委員長 森山 一政
副委員長 成井小太郎

— 主な質疑内容 —

問 常陸太田駅待合室改修工事の内容について

答 常陸太田駅待合室改修工事は、太田一高生徒会からの要望を受け、駅舎のコミュニティスペース内に冷暖房完備の待合スペースを設ける工事である。予定規模は、幅5.6m、奥行2.6m、面積約14.5㎡、高さ約2.6m、座席数は15～20席程度である。令和7年度は詳細設計及びJRと協議を行い、年度内に工事が完成する予定である。

問 市道3183号線（栄町西山線）の整備内容と事業計画について



答 市道3183号線（栄町西山線）整備事業は、太田一高入口交差点から太田一高正門前を通り、太田一高敷地の西端までの延長約250mにわたって実施する予定である。2車線で北側（太田一高側）に歩道を設置し、その幅は2.0～3.0mを予定している。令和7年度から令和10年度までに測量・詳細設計・用地補償等を実施し、令和11年度から工事に着手する予定である。

問 男女共同参画プラン策定事業の狙いと具体的な進め方について

答 令和7年度は、第4次男女共同参画推進計画策定の年であるため、14名の審議委員を中心にプランを策定する予定である。また、昨年度はLGBTQに関する講演会を実施し、本市で初めて多様性に関する事業を展開したところ、大変好評を得たので、今後は、「男女」に留まらず、その他の多様な性の要素も盛り込んだプランの策定を進める予定である。



問 常陸秋そばブランド推進協議会の設置概要等について



答 発祥の地である本市産「常陸秋そば」の再興と生産振興を図るため、茨城県東京渉外局と連携し、都内高級レストランへの売り込み等リブランド事業に取り組んでいる。さらに事業を促進させ、他産地との差別化を図るため、各分野に精通した方を委員に委嘱し、販売戦略・販路拡大等について提言をいただくため、令和7年度に常陸秋そばブランド推進協議会を設置する予定である。

令和7年第1回市議会定例会 陳情審査結果

陳 情

件 名	提 出 者	結 果
【陳情第1号】 時代に即した法整備がなされないため、相続により基本的な人権の侵害やいらぬ経済的負担を強いられている農村出身等子育て世代若者の救済を求める陳情	山田 健雄	報 告



議員定数と報酬は？

常陸太田市議会では、現在、議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数及び報酬のあり方について協議しています。そこで、本市における議員定数の変遷や議員報酬について解説します。本議会だよりの最後に「常陸太田市議会の議員定数及び報酬等に関する市民アンケート」もございますので、回答へのご協力をよろしくお願いいたします。

本市の議員定数は、「常陸太田市議会議員の定数を定める条例」で定められており、右の表のとおり、市町村合併後の平成18年度が26人、その後複数回の見直しがあり、現在は17人となっています。全国5万人未満の市区における平均議員定数は16.8人^{*1}、議員一人当たりの人口は1,962人^{*1}となっています。

本市の議員報酬は、「常陸太田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例」で定められており、平成12年以降月額395,000円となっております。

(※1 出典：県北市議会議長会資料)

【本市における議員定数の変遷】

年度	議員定数	増減数	議員一人当たりの人口
平成18年度	26人		2,273人
平成22年度	22人	△4人	2,557人
平成26年度	20人	△2人	2,648人
平成30年度	18人	△2人	2,765人
令和4年度	17人	△1人	2,745人



本議会だよりの最終ページにある

「常陸太田市議会の議員定数及び報酬等に関する市民アンケート」

にご回答いただき、皆様のご意見をお聞かせください。ご協力をよろしくお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

6月定例会会期日程（予定）

- 6月16日（月）午前10時 開会・議案説明
- 18日（水）午前10時 一般質問
- 19日（木）午前10時 一般質問
- 20日（金）午前10時 議案質疑
- 23日（月）午前10時 総務委員会
- 24日（火）午前10時 文教民生委員会
- 25日（水）午前10時 産業建設委員会
- 30日（月）午前10時 委員長報告・採決・閉会

傍聴される方は、市役所4階議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。また、常陸太田市議会では、本会議映像をインターネットで配信しています。

常陸太田市議会

検索



議会運営委員会

1月21日に第1回定例会の会期等について審議した。2月21日には、第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の発言方法・時間制限、付託案件以外の質疑、予算特別委員会の設置について、3月4日には一般質問通告者について、3月18日には、最終日の日程、追加議案、所管事務調査報告書等について、審議を行った。



委員長	益子 慎哉	副委員長	茅根 猛
委員	深谷 渉	委員	小室 信隆
〃	森山 一政	〃	根本 仁

議員辞職のお知らせ

藤田謙二議員と根本仁議員の辞職願が3月31日付けで許可されました。

議会日誌

- 1月21日 議会運営委員会・議員定数等調査特別委員会・全員協議会・広報委員会・議会改革推進会議
- 22日 福井県越前市議会行政視察来市
- 23日 茨城県市議会議長会定例会
- 27日 県北市議会議長会研修視察（27日～28日）
- 29日 福島県田村市議会行政視察来市
- 2月3日 市議会災害対策委員会情報伝達訓練・広報委員会
- 6日 市議会議員共済会第129回代議員会
- 10日 議会改革推進会議・茨城県ひたちなか市議会行政視察来市
- 14日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会
- 18日 文教民生委員会協議会
- 21日 議会運営委員会・新年度予算概要説明・全員協議会・議員定数等調査特別委員会・政治倫理条例調査特別委員会・議会改革推進会議
- 3月4日 本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
- 6日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（議案質疑）・予算特別委員会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会・議会改革推進会議
- 11日 総務委員会・総務委員会所管事務調査
- 12日 文教民生委員会
- 13日 産業建設委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 議会改革推進会議・予算特別委員会・議会運営委員会・全員協議会・議員定数等調査特別委員会
- 24日 本会議（委員長報告・採決・閉会）

編集後記

議会だより180号では、令和7年第1回市議会定例会の主な内容を掲載いたしました。令和7年度の各会計予算（一般会計等8会計）の審議内容など、まとめて掲載しましたのでご覧ください。

昨年は、市制施行70周年・合併20周年を記念して、いろいろなイベント等が開催され、市民の皆さんの記憶と記録に残ったことと思います。

今は、殆どの田んぼで田植えも終わり、緑色の景色となりました。おいしい新米の季節が待ち遠しいものです。

今年は昨年以上の猛暑が予想されており、体調管理に十分注意し、今年の夏を元気に乗り越えましょう。

これからも、読みやすい・親しみやすい「議会だより」を市民の皆様にお届けできるよう、広報委員一同編集に取り組みで参りますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

委員長	菊池 勝美
副委員長	森山 一政
委員	宇野 隆子
〃	成井 小太郎
〃	深谷 渉
〃	小室 信隆
〃	鴨志田 悟

常陸太田市議会の議員定数及び報酬等に関する 市民アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆さまにおかれましては、平素より常陸太田市議会議員の活動に、ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

常陸太田市議会では、現在、議員定数及び報酬のあり方について特別委員会を設置し協議しています。

この度、本件について市民の皆さまからご意見を伺い、今後の協議の参考とさせていただきますため、市民アンケート調査を実施することといたしました。

本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年5月

常陸太田市議会議長 高星 勝幸

○常陸太田市議会議員定数等調査特別委員会

委員長：茅根 猛 副委員長：高木 将

委員：成井小太郎 深谷秀峰

森山一政 鴨志田悟

【アンケートご回答にあたってのお願い】

① アンケート回収方法（回収箱・FAX）

裏面のアンケート用紙にご記入の上、市役所本庁（1階総合案内又は4階議会事務局）、各支所地域振興課、生涯学習センター、交流センターふじ、水府総合センター、里美文化センターに設置してあるアンケート用紙回収箱にお入れいただくか、ファックス（0294-73-1119）で送信してください。

② アンケート回収方法（QRコード）

ウェブ上でのご回答も可能です。スマートフォンからQRコードを読み取ってご回答ください。なお、フィーチャーフォン（ガラケー）は対応していませんのでご了承ください。

※ウェブでご回答いただいた場合は、本用紙での回答は不要です。



※ご回答は、令和7年6月30日（月）までをお願いいたします。

（お問い合わせ先）

常陸太田市議会事務局 電話：0294-72-3111（内線 432・433）

Fax：0294-73-1119

常陸太田市議会議員定数及び報酬等に関するアンケート

下記の問いについて、該当する□に✓印又は意見等を記載してください。
はじめに、回答する方の年齢等をお聞かせください。

年 齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代以上
お住まい	<input type="checkbox"/> 常陸太田地区	<input type="checkbox"/> 金砂郷地区	<input type="checkbox"/> 水府地区	<input type="checkbox"/> 里美地区		

問1 あなたは何人の市議会議員を知っていますか。
0人 1～5人 6～10人 11人以上

問2 あなたが身近に感じると思う市議会議員は何人いますか。
0人 1～5人 6～10人 11人以上

問3 常陸太田市の議員定数は、市町村合併後の平成18年(人口約59,000人)が26人で、その後複数回見直しがあり、令和4年(人口約47,000人)に17人となり現在に至っています。この定数について、あなたはどのように思いますか。
多い 適当 少ない 分からない

問4 問3の選択肢を選んだ理由についてお聞かせください。

問5 常陸太田市の議員報酬は、平成12年以降、月額395,000円に変更はされていません。議員報酬は各自治体が独自に定めており、その決め方には基準はありませんが、あなたはどのような基準にもとづき決めるべきだと思いますか。
市職員の給与を基準とする
他市との比較
財政状況
その他 ()

問6 問5の選択肢を選んだ理由についてお聞かせください。

問7 議員定数及び報酬に関してご意見等があればお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。